

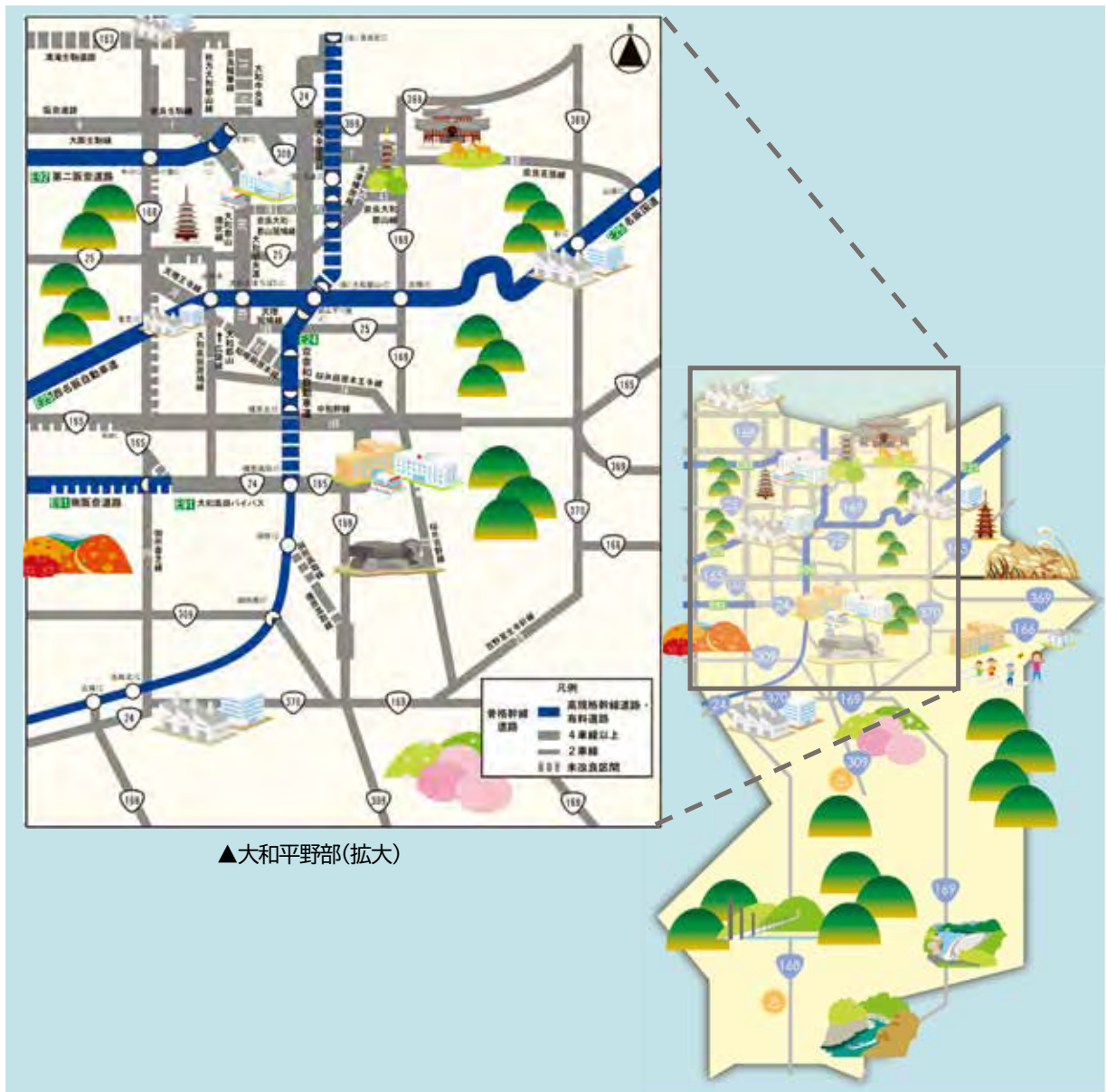
I. 人流・物流を支える交通ネットワーク・拠点の整備

1. 奈良県の道路整備

奈良県道路整備基本計画

奈良県では、「何のために」「どのような」道路を整備するのかを示す『整備すべき道路のあり方』などから構成される、5箇年の道路整備の方向性を示した「奈良県道路整備基本計画」を平成26年7月に策定(令和元年10月に改定)しています。「骨格幹線道路ネットワークの形成」や、明確な目的を定め、本県経済の進展に対応した「目的志向の道路整備の推進」、近年の大規模自然災害の増加などから「安全・安心を支える道路整備の推進」に取り組みます。

現在、令和6年度中の改定に向けて、奈良県道路整備委員会で審議を進めています。



骨格幹線道路ネットワークの形成

県土の骨格を形成すべき特に重要な路線網を「骨格幹線道路ネットワーク」と位置づけ、重点的に整備を推進します。

- 主な骨格幹線道路ネットワーク
京奈和自動車道、国道24号、国道25号、
国道168号、国道169号 など



▲奈良県道路整備計画はこちら



▲ならの道はこちら

目的志向の道路整備の推進

▶ 企業立地を支援する道路整備の推進

- 骨格幹線道路ネットワークから産業集積地への良好なアクセス道路の確保



▲ 企業立地の促進を図るうえで目指すべき道路ネットワークのイメージ

- 通勤・業務での移動の円滑化



▲ 渋滞緩和に向けたハード対策 (国道24号 葛本町交差点)

▶ 観光振興に資する道路整備の推進

- 観光地へのアクセス性の向上



▲ ぐるっとバスを活用したパーク&バスライド

- 観光地間の周遊の促進



▲ 「ジテンシャでなら」奈良県自転車利用総合案内サイト

- 観光地内の回遊の促進



▲ 観光案内サインの設置

▶ まちづくりに資する道路整備の推進

- 道・駅・まちの一体的なまちづくりの支援



▲ 駅周辺の回遊まちづくり

- 公共交通の利便性の向上



▲ バス情報表示装置

- 生活空間における道路環境の整備



▲ 無電柱化(イメージ)

安全・安心を支える道路整備の推進

- 災害に強い道路整備



▲ アクセス道路の整備 (県道入野河原屋線(R5.9供用))

- 老朽化に対応した適切な維持管理



▲ 橋梁の補修工事

- 暮らしを支える交通安全対策の実施



▲ 歩行空間の確保

1. 人流・物流を支える交通ネットワーク・拠点の整備

京奈和自動車道の整備

京奈和自動車道

京奈和自動車道は、京都～奈良～和歌山を結び関西大環状道路の重要な路線のひとつであり、関西都市圏の発展を支える高規格幹線道路として、全体120kmのうち、現在約88kmが供用しています。

奈良県内における未整備区間約17kmについては、国土交通省とNEXCO西日本により整備が進められています。

奈良県では、早期全線開通に向け、沿線市と協力し、地元や地権者との調整に協力するとともに、整備促進を国に働きかけています。

【令和6年度事業内容】

TOPIC

大和北道路：調整次第、掲載予定

大和御所道路：調整次第、掲載予定

至 和歌山

▲大和北パンフ HPはこちら

新名神高速道路
名神高速道路
第二京阪道路
城陽JCT・IC
木津IC
大和北道路
大和御所道路
中国自動車道
近畿自動車道
第二阪奈道路
西名阪自動車道
郡山下ツ道JCT
和歌山 JCT
和歌山
京奈和自動車道
奈良県
至 京都
至 京都
至 大阪
大和高田バイパス
（仮称）橿原 JCT
大阪方面接続ランプ
令和 8 年春開通予定

大和北道路
大和御所道路

▲大和御所パンフHPはこちら
橿原市新堂町（仮称）橿原 JCT 橋梁上下部工事 至 和歌山

▲奈良国道事務所 HPはこちら ▲京奈和自動車道パンフHPはこちら

JR新駅の設置と鉄道高架化

(仮称)奈良IC周辺〔(都)西九条佐保線等〕の整備及びJR新駅周辺のまちづくり

京奈和自動車道の(仮称)奈良ICに直結するアクセス道路であり、まちづくりの骨格となる(都)西九条佐保線や(都)大安寺柏木線の整備及びJR関西本線の鉄道高架化、新駅設置を推進します。また、(仮称)奈良ICとJR新駅による交通結節機能を活かしたまちづくりに取り組みます。

〈 鉄道高架化事業で除却予定の踏切(4箇所) 〉



▲大安寺踏切道



▲南大安寺踏切道



▲八条踏切道



▲中八条踏切道

【令和6年度事業内容】

TOPIC (仮称)奈良IC周辺〔(都)西九条佐保線等〕の整備

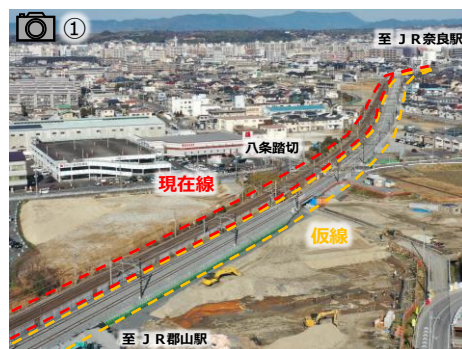
- ・(都)西九条佐保線・大安寺柏木線では、用地買収、文化財調査等を引き続き進めます。
- ・鉄道高架化事業では、仮線への切替を行い、高架化工事に着手します。

JR新駅周辺のまちづくりの推進

- ・先進的な都市サービスを提供するまちづくりに向けた検討を奈良市と連携して進めます。



▲(仮称)奈良IC・西九条佐保線(完成イメージ)



▲JR新駅周辺



▲南大安寺踏切付近(仮線工事)

“こんな体験できる!!” 若手職員の声

(道路建設課 (入庁5年目))



私は主に都市計画道路の整備及び鉄道高架化の事業に携わっています。鉄道高架化により踏切が除却されることで踏切事故や地域分断の解消にもつながり、併せて実施される道路整備により奈良市中心市街地へのアクセス性が向上します。

左の写真はR5年11月に実施した現場見学会のもので、工事中の仮線を歩いています。現在線から仮線への切替が始まるまでしか体験できない貴重なものです。普段は立ち入れませんが、各踏切付近からは状況確認できます。

I. 人流・物流を支える交通ネットワーク・拠点の整備

3. 紀伊半島アンカールート of 整備

令和6年度事業内容

紀伊半島アンカールートの整備

県南部地域の防災機能向上及び地域活性化を図るとともに、近い将来発生が危惧される南海トラフ巨大地震等の大規模災害への対応力の強化を図るため、国と県で連携して「紀伊半島アンカールート」の早期整備に取り組んでいます。

アンカールート国道168号の整備

TOPIC

奈良県事業

- ・新天辻工区：調査・設計、用地買収、仮設工事を推進します。
- ・阪本工区：令和6年3月に供用開始

国事業

- ・長殿道路
- ・風屋川津・宇宮原工区
- ・十津川道路(Ⅱ期)

長殿道路(国)

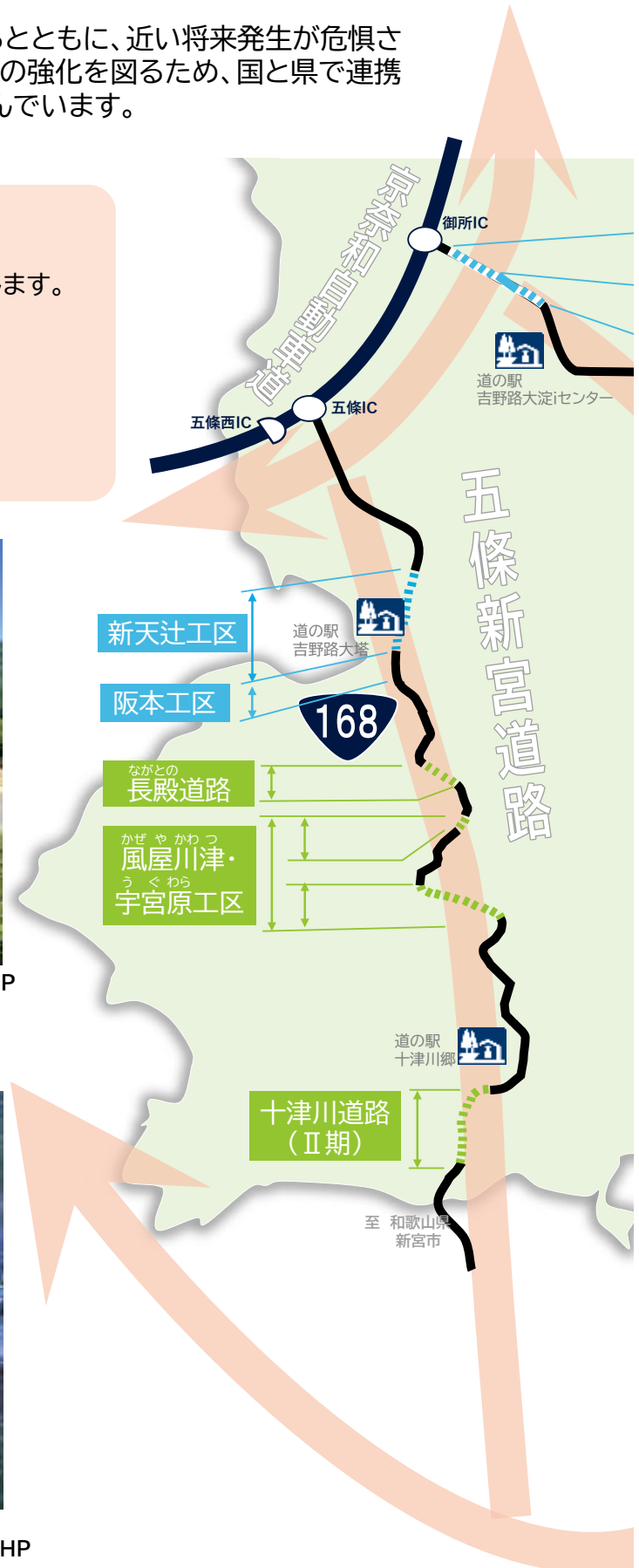


十津川村長殿 橋梁下部工事

風屋川津・宇宮原工区(国)



十津川村川津 橋梁下部工事



紀伊半島アンカールートとは…

紀伊半島の骨格となる京奈和自動車道、近畿自動車道紀勢線、それを結ぶ五條新宮道路(国道168号)、奈良中部熊野道路(国道169号)の形が船の錨(イカリ: anchor(アンカー))の形に似ていることから呼称されています。



アンカールート国道169号の整備

TOPIC

奈良県事業

- ・御所高取バypass: 調査・設計、用地買収を推進します。
- ・高取バypass: 拡幅工事を推進します。
- ・調査路線(下北山村前鬼～上池原)
: 調査・設計を推進します。

国事業

- ・伯母峯峠道路



高取バイパス(県)



伯母峯峠道路(国)

【凡例】	
	国事業箇所
	県事業箇所
	現道
	調査路線

I. 人流・物流を支える交通ネットワーク・拠点の整備

4. 大和西大寺駅・平城宮跡周辺の渋滞踏切の解消に向けた取組

交通事故の防止・交通の円滑化

▶ 踏切道改良計画の策定

大和西大寺駅及び平城宮跡周辺では、以前より踏切による渋滞が課題となっていました。平成29年1月に大和西大寺駅西側の4踏切道、平成30年1月に大和西大寺駅東側の4踏切道が踏切道改良促進法(※)に基づく改良すべき踏切道として指定を受けました。

これを受け、奈良県・奈良市・近畿日本鉄道株式会社の3者での協議を経て、令和3年3月に大和西大寺駅の高架化・平城宮跡から近鉄奈良線の移設という改良方法で合意し、踏切道改良計画を策定しました。

※踏切道の改良を促進することにより、交通事故の防止及び交通の円滑化に寄与することを目的に制定され、踏切道指定基準に該当する踏切道の中から、踏切道における交通量、踏切事故の発生状況等を考慮し、踏切道改良基準に適合する改良の方法により改良する必要がある踏切道について、国土交通大臣より法指定が行われます。

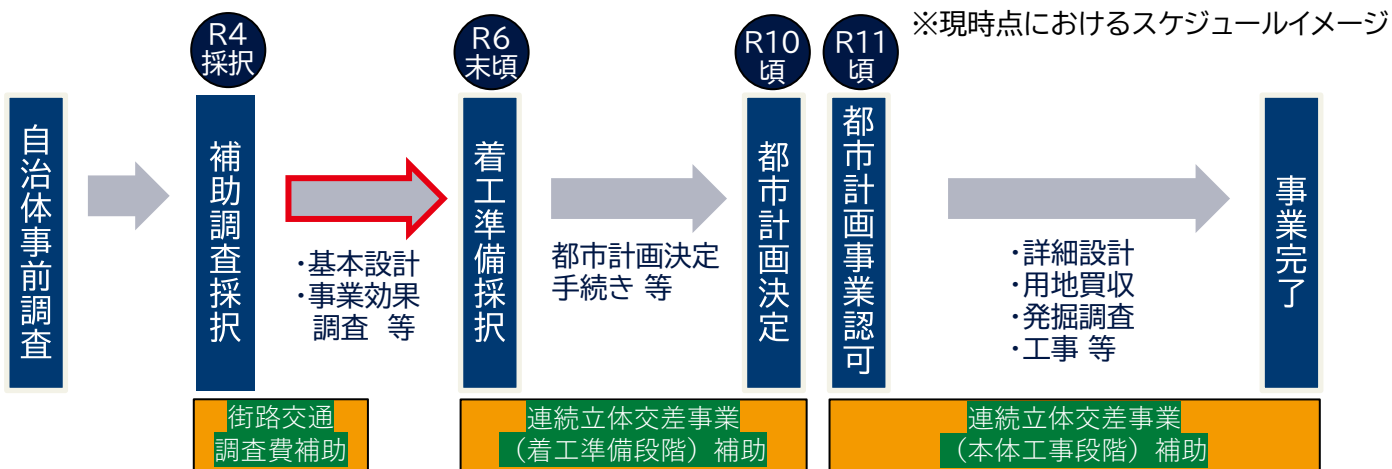


▲改良すべき踏切道として指定を受けた踏切の一例
(菖蒲池第8号踏切)



▲大和西大寺駅及び平城宮跡周辺の様子

連続立体交差事業



踏切道改良計画では、抜本対策として、連続立体交差化することにより踏切道の除却を行うことを想定しています。

連続立体交差事業とは、鉄道を連続的に高架化・地下化することで複数の踏切を一挙に除却し、交通の円滑化と、都市の活性化を推進するものです。それにより、踏切の除却等による交通渋滞の解消、踏切事故の解消、鉄道で分断されている市街地の一体化による地域の活性化といった効果が期待されます。

令和6年度事業内容

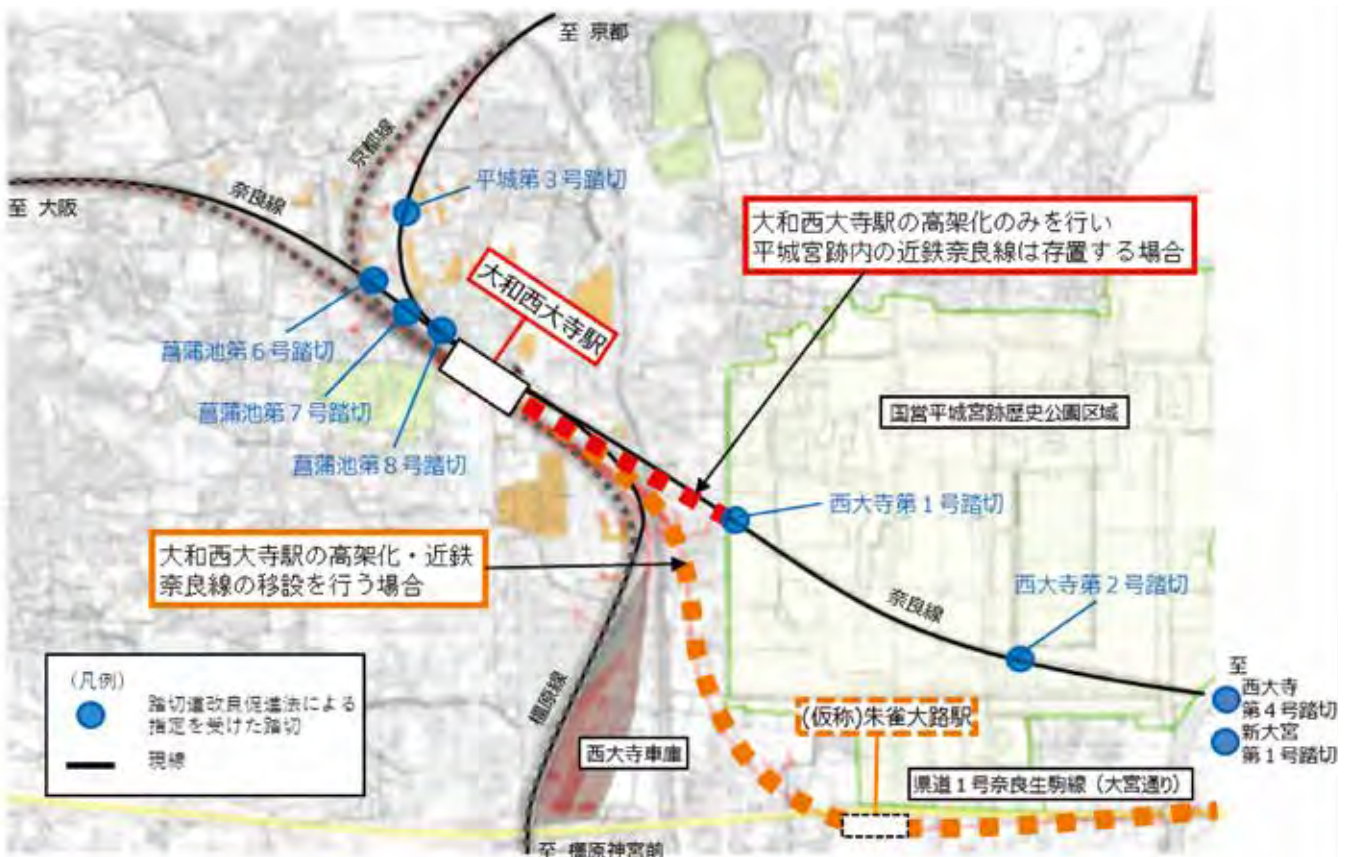
TOPIC

大和西大寺駅の高架化事業については、同駅周辺の「開かずの踏切」解消のため、引き続き、積極的に事業を推進します。

具体的な取り組み

- 「大和西大寺駅の高架化及び近鉄奈良線の移設を行う事業案」と「大和西大寺駅の高架化のみを行い平城宮跡内の近鉄線は存置する事業案」について、以下の内容等を整理した上で、費用対効果の比較等を行います。
 - 鉄道線形
 - 大和西大寺駅以東の4踏切に係る対策
 - 事業費・事業期間・事業効果 等
- 県、市、近鉄の3者で協議の上、整備方針の決定を目指します。

<大和西大寺駅周辺地区の線形イメージ例>



※図示する線形・駅等は、イメージであり確定していない。

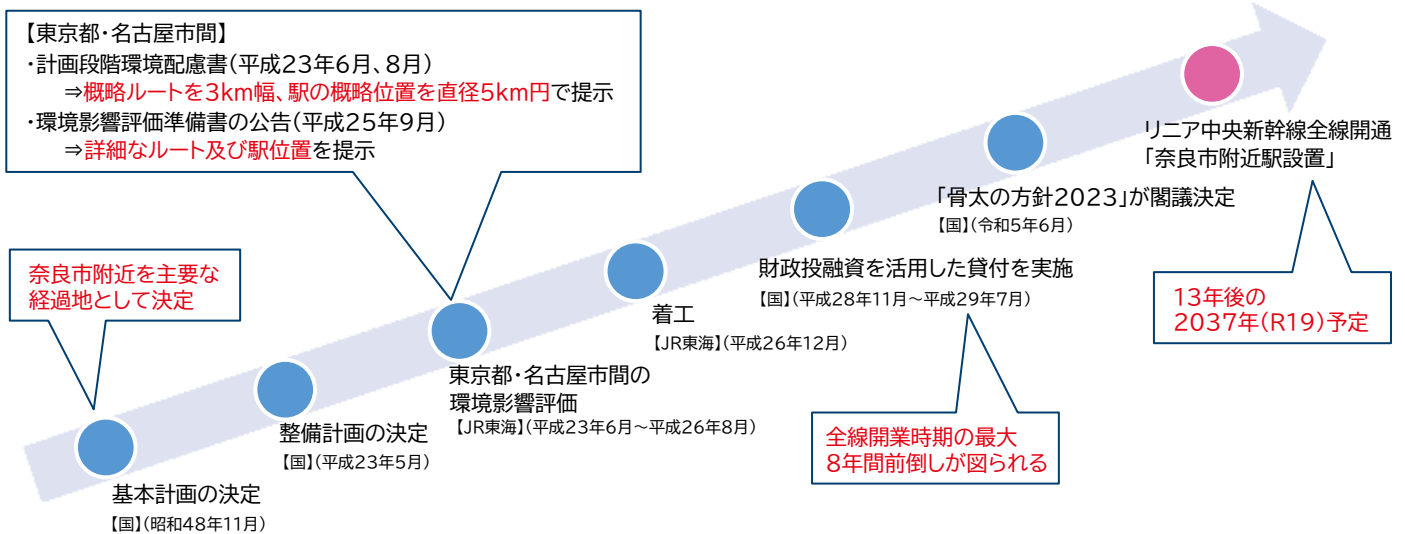
I. 人流・物流を支える交通ネットワーク・拠点の整備

5. リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の早期確定

リニア中央新幹線の全線開業へ

▶ 三重・奈良・大阪ルートへの早期実現に向けた取組

リニア中央新幹線は、東京都から甲府市附近、赤石山脈(南アルプス)中南部、名古屋市附近、奈良市附近を經由し大阪市までの約438kmを、我が国独自の技術である超電導リニアにより結ぶ新たな新幹線です。



本県の基本姿勢 ▶ 「奈良市附近駅」の早期確定に向け、全面的に協力・推進

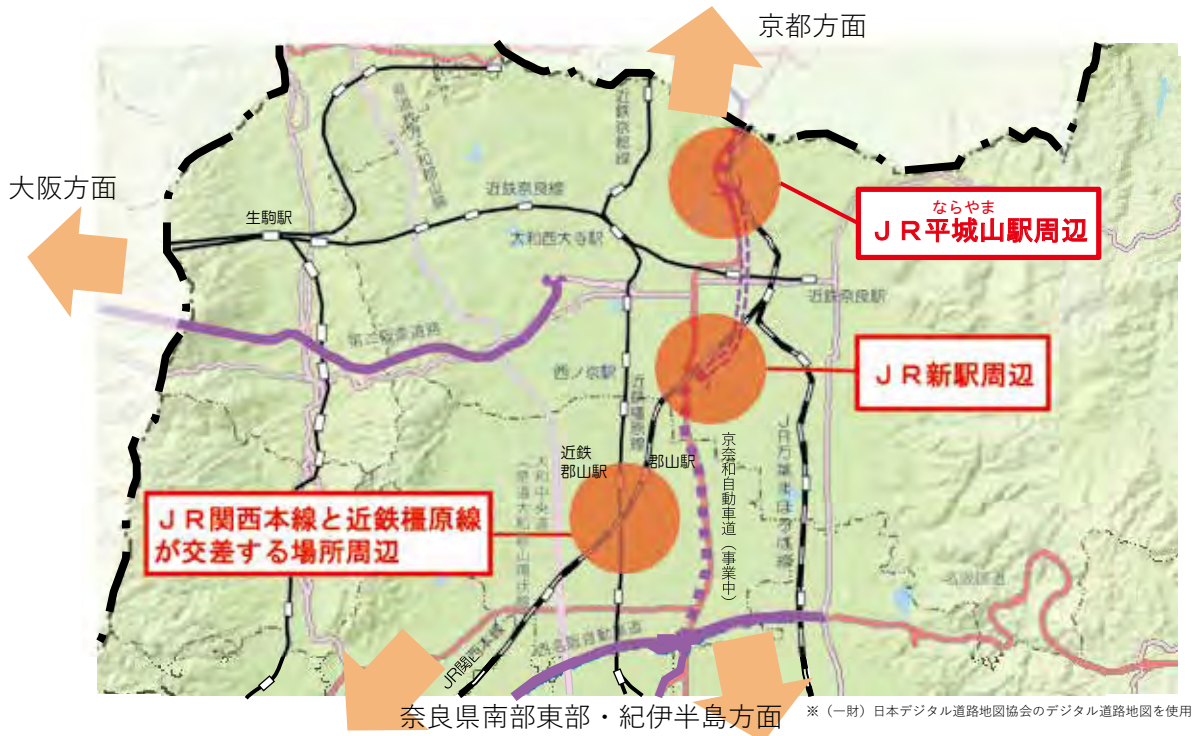
- リニア中央新幹線の大阪までの全線開業、そして「奈良市附近駅」の設置は、本県の新たな発展の基軸となるものです。
本県は、リニア中央新幹線の整備促進と「奈良市附近駅」の早期確定に向けて、全面的に協力・推進していきます。
- また、リニアの整備効果が、観光・経済面など広範にわたって県内全域に及ぶよう、必要な調査・検討を進めます。

令和6年度事業内容

- ▶ 2023年12月にJR東海が名古屋・大阪間の環境影響評価に着手したと公表されたことを踏まえ、令和6年度も調査・検討や、要望活動・広報活動を引き続き実施しています。

TOPIC

- ・リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の位置等に関する調査・検討
- ・中間駅周辺のまちづくりに関する調査・検討



コラム 要望活動・広報啓発活動

●要望活動・広報啓発活動

法に基づく整備計画の通り、「奈良市附近駅」の位置及び三重・奈良・大阪ルートの早期確定に向け、三重県・大阪府の行政や経済団体等と連携しながら、国・JR東海等関係機関に対する要望活動、建設促進に向けた広報啓発を行っていきます。



▲リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会総会
(令和5年9月6日)



▲まちびらきイベントでの啓発活動



▲くわしくはこちら